

新シリーズ

結婚って？ 教えて、まり子先生！

その①

そろそろ結婚を 考えていますが…

日本ホーリネス教団 川越のぞみ教会牧師
家族と結婚のカウンセラー

FFJ 評議員 西岡 まり子 先生

あなたの結婚への願いを描こう！

今ハッキリとしていることは、あなたの願いですね。「そろそろ結婚したい」そして、もう一つ、これは価値観だと思えますが「本来ならクリスチャンと結婚すべき」と分かっている…。「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。」(ピリピ2・13)

この「志」が口語訳聖書では、「願い」と訳されています。

人間を突き動かしていく力の根底には、「願い」があるのではないでしょうか。あなたの内に大切な「願い」が起こされていることに嬉しく思います。もう、スタート地点に立っておられるのです。ただ、願いの「結婚」が漠然としているのではないのでしょうか。あなたは、どのような「結婚」を望んでおられるのですか。男女が一緒に暮らしていくうちに、それなりの結婚(夫婦)になっていく、と思われているのなら、結婚から多くを得られると期待しない方が良いと思います。

「結婚」は作り上げていくものなのです。もつと言えば、「夫婦」はできるものでなく、なっていくもの。「夫婦」となっていくためのプロセスを、ともに歩んでいく努力が必要なのです。どんな「結婚」がしたいですか。どんな夫婦になり、どのように支え合い、どのように家庭をはぐくんでいきたいですか。まずは、あなたの「結婚」と「夫婦」のイメージを描いてみましょう。

そして、今お付き合いしているその人と、分かち合ってみませんか。

価値観が違うと？

分かち合う時に、お二人の価値観が問われると思えます。「クリスチャンと結婚すべき」と思われるのも、その人の価値観によります。クリスチャンには、どうしても譲れない神に対する信仰と信仰生活がありますよね。それに対して、彼はどのように思い、感じ、考え、行動するでしょうか。それは、結婚してから分かったのでは、遅すぎませんか。

クリスチャンとしての信仰をきちんと説明されているでしょうか。難しいなと思われる方は、牧師に相談してみてもいいでしょうか。自分で説明できない領域は牧師にしてもらってもいいのです。

ここでの注意は、これが説明であり、入信のお誘いではないことです。あなたの思いの内を知って頂く時なのです。

クリスチャンの信仰、価値観などを知らないで、「お互いに尊重し合えばいい」くらいの気持ちで結婚すると、結婚後の生活で価値観の違いに気づき啞然とすることでしょう。あるノンクリスチャンの夫は、妻が子どもを教会に連れて行くことに反対します。信仰の自由は本人だけにあり、子どもたちも自由であるべきだから、親が連れて行ってはいけないというのです。子どもたちにも、信仰継承したいと願っていた妻には、夫の考え方が理想の家族への大きな壁となってしまうました。

ですから、ぜひ結婚前にお互いの価値観を紹介してほしいと思います。そこまで強くクリスチャン色を出してしまうと、彼が離れて行ってしまいかも、と恐れを抱くかもしれませんが、

質問 ノンクリスチャンの彼と付き合って数年、そろそろ結婚したいと願っています。本来ならクリスチャンと結婚するべきと分かっていますが、教会にいる男性は既婚者かご老人…。私は職場で出会ったこの男性と一生寄り添ってあげたいと思っています。でもその彼はまだ結婚する気がないようです…。どうしたらいいのでしょうか。

回答 結婚する気のない彼？その上、ノンクリスチャン…。これでいいのか分からないけれども、今はこの状況しかないし…と、前にも後ろにも進めないと感じているようですね。本当にどうしたらいいのでしょうか。その問いを、今ある小さな光を確認しながら一緒に考えていきたいと思えます。